

令和5年度 第4回 焼津市地域公共交通会議 会議録		開催	日時 令和6年1月23日(火) 10時00分～11時45分
			場所 市役所7階 会議室7A
報告事項	ア 焼津市地域公共交通網形成計画における目標達成状況について イ 焼津市交流型グリスロ実験(つなモビ)について		
協議事項	ア 令和6年度自主運行バス・デマンドタクシー運行計画(案)について イ 令和5年度地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価(案)について ウ 令和6年度路線バス単独継続困難路線の対応について		
出席委員 13名	(公共交通会議) 福與 会長 (焼津市) 藁科 委員 (しずてつジャストライン(株)) 堀内 委員 ((一社)静岡県バス協会) 中村 代理委員 (株アンビ・ア) 小泉 委員 (静岡県タクシー協会志太榛原支部) 増田(秀) 委員 (中部運輸局静岡運輸支局) 廣津 代理委員 (静岡県交通基盤部) 岩見 委員 (静岡県焼津警察署) 白石 委員 (焼津市自治会連合会) 遠藤 委員 (さわやかクラブやいづ連合会) 増田(嘉) 委員 (焼津市民生委員児童委員協議会) 神谷 委員 (焼津市社会福祉協議会) 渡辺 委員 (静岡福祉大学)		
欠席委員 2名	ジャストライン労働組合 山田委員、静岡県島田土木事務所 財津委員		
オブザーバー	焼津市建設部長 久保山 巖夫		
傍聴者	0名		
議事内容			
会議の成立	委員総数15名のうち13名が出席している。過半数を超えているため会議は成立する。		
報告事項	ア 焼津市地域公共交通網形成計画における目標達成状況について *説明資料 P.2～5 自主運行バスについて(一部民間路線バスを含む)、当計画における目標達成状況について説明した。  【質問・説明等】 特になし  イ 焼津市交流型グリスロ実験(つなモビ)について *説明資料 P.6～8 焼津駅周辺地域において試験的に運行しているグリーンスローモビリティについて説明した。		

	<p><b>【質問・説明等】</b></p> <p>○遠藤委員：「つなモビ」を利用して小川港魚河岸食堂へ行くツアーの資料が入っていて、料金が810円とある。このことについて詳しく知りたい。</p> <p>⇒事務局：600円で1日乗り放題の「つなモビ」と、路線バスの運賃210円とを合計して810円と表記してある。「つなモビ」は定員5人のため、2日間でそれぞれ3つの時間帯を設定し、最大で30人をツアー参加者として募集する。グループごとに行程が異なるため、路線バスではなく自主運行バスに乗るグループもある。自主運行バスは200円で乗車できるが、資料の表示金額は高い方を記載している。</p> <p>○増田秀典委員：ゴルフカート型の車両、冬期の運行ということで寒そうに思えるが、利用者の感想はどうか。</p> <p>⇒事務局：昨年も同時期に運行しており、車体にビニール製のカバーを掛けて運行している。実績として利用者数は共有しているが、利用者の体感というところまでは把握していないため、実施主体に確認する。</p> <p>○遠藤委員：私の周りでは、市立病院に行きたいという声をよく聞く。「つなモビ」で市立病院へ行けないか。</p> <p>⇒事務局：今回の実験は焼津駅周辺で運行している。市立病院までは駅から距離がありグリスロでは困難だが、今回の実験結果を踏まえた今後の検討の中で参考にさせていただく。</p>
協議事項	<p>ア 令和6年度自主運行バス・デマンドタクシー運行計画（案）について *説明資料 P.9～12</p> <p>大島・三和地区および大井川地区デマンドタクシーが令和6年度から本格運行になることを踏まえ、各地区デマンドタクシーと自主運行バスの運行計画を説明した。加えて、それぞれの利用促進策についても説明した。</p> <p><b>【質問・説明等】</b></p> <p>○増田秀典委員：4月から本格運行になるということで、国への申請が必要である。スケジュールがかなりタイトになってくるため、事業者と市と、連絡を密に取り協力して進めていきたい。名古屋の運輸局等へは既に話をしている。</p> <p>○小泉委員：今年度、社会福祉協議会と連携し、お食事に行くツアーなどを実施した。来年度以降も引き続き、利用者の声を踏まえて運行していきたい。利用者数も登録者数も増やしていきたいので、通常のタクシー利用者の中から、「日常使い」をしているお客様等に声掛けをしていく。</p> <p>○遠藤委員：豊田地区に公共交通が無いため、デマンドタクシーを検討してほしい。吉田町で新たに始まった「乗合送迎サービス」では、吉田町内に140以上の停留所があり、平日は朝6時から夜8時まで運行している。料金は300円で、500円になるが榛原総合病院へも行ける。こういう事業をできないか。</p>

⇒事務局：昨年、豊田地区の団体から声が掛かり、市内のバスの状況等をお話しした。焼津 IC 地域のデマンドタクシーを運行開始した際は、地域で協議会を立ち上げ、市と話し合いを重ねて運行に至った経緯がある。吉田町については、町でバスを運行しておらず、路線バスの運行も少ない状況であったため、町全域での実証実験となったと考える。焼津市はすでに複数のバス路線が通っており、バスとデマンドタクシーを組み合わせることで、カバーすることを考えている。

○渡辺委員：ニーズを把握するため、そのエリアに独居の方がどれくらいいるか、など世帯構成を分析しているか。

⇒事務局：焼津市全体的な傾向は聞いているが、エリア内での詳細を分析して計画に結び付けるところまではできていない。しかし、デマンドの本格運行にあたり高齢者の登録者数を目標にしているところであり、更に現状の利用者の内訳を見ると女性や高齢者が多いため、これらの方々をターゲットに周知を進めていきたい。

○岩見委員：高齢ドライバーが増えている。高齢者が免許証返納をしやすくなるように、例えばデマンドタクシーの回数券を配付するなど、なにか補助策をできないか。

⇒事務局：現時点でそういった補助はないが、自主運行バスには 10 回分の料金で 12 回利用できる回数券がある。高齢者が安心して免許証を返納し、バスやデマンドタクシーの利用を増やすことに繋がるよう、返納者を対象とした啓発を社会福祉協議会と進めていく予定である。

○遠藤委員：認知症基本法が 1 月から施行されたが、市で新たな取り組みはあるか。

⇒事務局：市で取り組むことがあれば情報提供していく。

○神谷委員：デマンドの停留所について、車両を活かして住宅がある細い通りや、地区内の大きなスーパー「KO マート」付近に行けるとよい。また、乗降位置の表示を充実してよりわかりやすくなると良い。

⇒事務局：大井川分科会で検討して改善をしていきたい。

○増田秀典委員：吉田町の例もそうだが、藤枝市でも、AI オンデマンドシステムを利用した新たな事業を開始したところである。近隣市町なので、ぜひ参考にしてもらえたらと思う。

#### 【採択】

事務局案に賛成の方の挙手  
～賛成総意～  
事務局の提案通り実施する。

イ 令和 5 年度地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価（案）について

\*説明資料 P. 13～15

地域公共交通確保維持改善事業に係る事業（地域内フィーダー系統）について、今年度の概要説明の後、6 年度計画について説明した。

	<p><b>【質問・説明等】</b> 特になし</p> <p><b>【採択】</b> 事務局案に賛成の方の挙手 ～賛成総意～ 事務局の提案通り実施する。</p> <p>ウ 令和6年度路線バス単独継続困難路線の対応について *説明資料P.16～21 市内路線バスの概要説明の後、市の補助金について、今後の方針について説明した。</p> <p>*静岡県交通基盤部地域交通課 廣津代理委員より、「令和5年度地域間幹線系統に関する事業評価」について説明。</p> <p>*しずてつジャストライン株式会社 藁科委員より「地域間幹線確保維持計画系統別評価シート」について説明。 対象の五十海大住線、焼津岡部線、藤枝吉永線、藤枝相良線の4路線すべてB評価となっている。この要因は、キロ当たり経常費用単価が上昇したことである。他社に先駆けて運転士の処遇改善を実施したことにより、人件費が上がっていることと、バスロケーションシステムやキャッシュレス決済など利用者の利便性向上のサービス維持費用が掛かっていることが単価上昇の主な理由である。 また、藤枝吉永線は昨年A評価だったが今年B評価に下がってしまっているが、これは「乗車人員」の項目が下がってしまったことによる。特定の調査日の乗車人数を年間換算しているため、ちょうどその日の利用者が少なかったことでこの表上ではこういった数値になっているが、日々の実績を見ると昨年を上回る数値となっている。</p> <p><b>【質問・説明等】</b> 特になし</p> <p><b>【採択】</b> 事務局案に賛成の方の挙手 ～賛成総意～ 事務局の提案通り実施する。</p>
閉会	<p>予定していた議事が終了 終了後、焼津市地域公共交通運賃協議会を開催し、大井川地区と大島三和地区の運賃について承認を得た。</p>